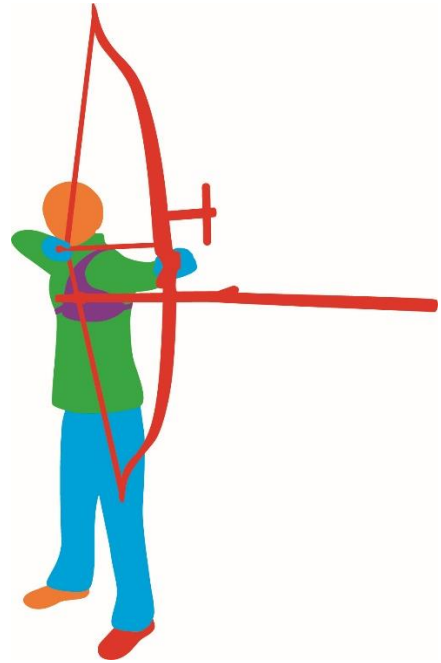


アーチェリー競技について

歴史・・・始まりは狩猟

弓は旧石器時代、狩猟の道具として発達したものが起こりといわれています。これらは、南東スペインなどに残っている洞窟壁画から推測されます。

弓を大別すると、地中海型（アーチェリー）、蒙古型（和弓）、及びピンチ型の3種類に分類されます。地中海で発達したアーチェリーは、武器として古代エジプトや中世イギリスで普及しましたが、鉄砲の出現とともに衰退していきました。その後、スポーツとしてイギリス王室を中心に復活しました。ヘンリー8世は大のアーチェリー愛好家だったといわれ、ロビン・フッドのお話もこの時代に作られました。



ターゲット（標的）競技

競技は、クォリフィケーションラウンドとイリミネーションラウンド及びファイナルラウンド（オリンピックラウンド）からなります。

（1）クォリフィケーションラウンド

男女とも70mの距離を36射、2回（72射）射て順位を競います。

個人戦は、このラウンドで順位が決まります。団体戦は、3人1組で、このラウンドでの3人の合計点の上位チーム（少年は16チーム、成年は8チーム）が、翌日のイリミネーションラウンドに進みます。

（2）イリミネーションラウンド

男女とも70mの距離で1セット2分6射（2射×3名）の4セットマッチ（5ポイント先取勝抜き）によるトーナメント方式で行います。

（3）ファイナルラウンド

男女とも70mの距離で1セット2分6射（2射×3名）4セットマッチ（5ポイント先取勝利）のゴールドメダルマッチとブロンズメダルマッチを行います。

用具

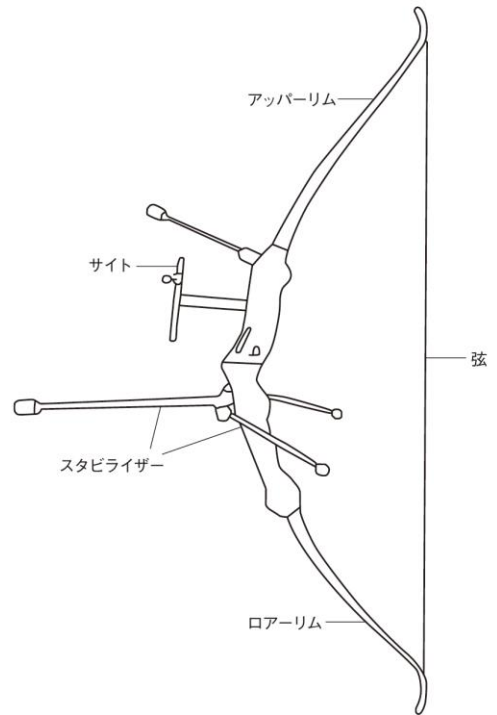
(弓)

アーチェリーの弓は、現在薄目の細長いカーボンファイバー、グラスファイバーなどを強い接着剤で張り合わせて作られており、張力や曲げに強く、反発力にも優れています。多くの選手は、ハンドル、アッパーリム及びロアーリムの3つに分解することができるテイクダウンボウを使用しています。

弓の威力は相当強く、時速 200km ぐらいで、フライト競技では 800m 以上も飛んだ記録があります。ターゲット競技に使用する弓はフライパンを突き抜けてしまう程です。

また、弓にはサイト、スタビライザーなどの補助的な装置をつけることができます。

サイト（照準器）は、ねらいを定めるためのもので、スタビライザーは、矢を射るときの衝撃を吸収するためのものです。



(弦)

軽くて強い化学繊維を 10~20 本縫り合わせたものを使います。

(矢)

アルミ合金またはカーボンパイプのシャフトに樹脂系の羽根をつけたものを使います。

(標的)

ターゲット（標的）は、直径 122cm の大きさに 5 色にくぎられており、10 段階に点数が分けられています。

